



もうすぐ暑い夏がやってきます！

プール清掃&プール開き



5月21日(水)今年度も消防団の皆様のご協力をいただき、プール清掃を行いました。いよいよ子どもたちが楽しみにしているプールでの学習が始まります。毎年、プールから子どもたちの元気な声や水しぶきの音を聞くと夏のはじまりを実感することができます。(温暖化の影響でしょうか?以前よりもプール開きが早まっているようにも感じています・・・)

5月27日(火)プール開きの際に、子どもたちには、①プール清掃に協力いただいた消防団の皆さんに感謝すること、②プールは教室と同じ学習の場あり、ルールを守らないと教室以上に危険なこともあること、③先生の話しや注意事項をよく聞いて、楽しく安全に参加してほしいと思っていることを伝えました。なお、保護者の皆様には、子どもたちの体調につきまして、ご家庭でよく見ていただき体調が優れない場合などは、無理をさせずに、必ず担任の先生へご連絡ください。



【第8分団の皆様によるプール清掃】

今年度も学校では、安全管理には十分に注意して、プールでの指導を行います。荒天時やWBGT31度以上、雷注意報警戒度2以上などは、本校では実施しないことを原則とします。近年は猛暑が続く、暑すぎる(水温+気温)ため、プールでの指導ができないことも多くなっています。プールを楽しみにしている子どもたちにとっては、申し訳ありませんが、その際は、各ご家庭でもご理解いただきますようお願いいたします。

地震避難訓練・引き渡し訓練 ご協力ありがとうございました

5月30日(金)地震避難訓練と引き渡し訓練を行いました。保護者の皆様には、お忙しいところ「引き渡し訓練」にご協力いただきまして、ありがとうございました。本校では、引き渡し訓練を隔年実施しております。先日も東京の小学校に不審者が侵入し、教職員に暴行するという事件も発生し、大きく報道されました。もしもに備えた訓練ですが、平時に備えておくことは大変重要であると考えています。この日に向け、先生方も避難経路に最適な動線はどうあるべきか?や、避難後の人員(安否)確認方法、負傷者への手当、引き渡し方法など、細かな手順について、紙面上でシミュレーションし、実施いたしましたが、保護者の皆様方から訓練へのご感想や改善点等がございましたら、担任の先生を通じてお聞かせください。なお、西小学校では、年度内に児童への火災避難訓練、不審者避難訓練についても実施する予定です。



【体育館での引き渡し訓練の様子】

<お知らせ>

右のQRコードから西小のWebページをご覧くださいと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。



西小の取組紹介③

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

西小の「環境教育」実践の様子 上毛新聞の取材を受けました！

上毛新聞社から西小学校の「環境教育」の取り組みについて取材の依頼があり、お受けすしました。「そもそもなぜ取材対象が西小なのか？」と記者の方に尋ねたところ、昨年度のぐんぎん財団環境教育賞最優秀校であったことと、社内でいろいろな学校について調べる中で、西小に取材してみようということになったとのことでした。私としては、特に目新しい取り組みや斬新なことに挑戦しているといった感覚はなく、これまでの西小の取り組みを「環境教育」という視点で整理し、校長自らが西小を理解するためにまとめたものなので、大変恐縮しています。ただ、本校の樹木や花壇等は用務員さんのおかげで、素晴らしく整備され、他校に誇れるものであることは「間違いない！」と自信をもっています。また、西小は保護者や地域の方々による環境整備や子どもたちの学習の機会の支援も大変素晴らしい学校です。そうした皆様の様々な継続的な支援が昨年度の受賞につながったと思っています。狭義の「学校での環境教育」ではなく、「西小に関わるすべての方の支援」＝「西小の教育環境」として評価されたものと考えています。



【ゴーヤの苗を植える4年生】

取材日当日(5/8)は、4年生の理科でゴーヤの苗を畑に植えるということでしたので、その様子を記者の方に見ていただきました。この日の様子は、6月4日の上毛新聞「環境特集2025」に掲載されるそうです。

文科省の「がん教育推進事業」の実践校に指定されました！

今年度の文部科学省指定「がん教育推進事業」実践校に西小と桐生中央中、桐生工業高が選ばれました。**がん教育**とは、「健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育」と定義されています。

今後、県教委、市教委から授業づくり等の指導を受け、秋頃には、他校の先生方に向けた授業公開や情報発信を行い、本校の取り組みや成果を広く紹介する予定です。また、授業後は、群馬大学医学部教授を座長としたがん教育推進協議会を行ない本校の取り組みに対する講評もいただく予定です。また、学校保健委員会等でも、文科省の健康課題理解増進事業として、外部講師を招いた講演会等を行うことも検討しています。(詳細が、まとまりましたら、お知らせできると思います。)

今回は・・・教頭先生から

「環境を整える・・・将来の夢」

「自分で考え行動し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」本校の基本目標です。最初の言葉「自ら考え」は昨今の教育目標に掲げられているキーワードです。さて、「自ら考えて行動する」とはどういうことでしょうか。がむしゃらに思いついて行動し、うまくいくこともあるとは思いますが、子ども達が、自ら考えて行動するための支援の一つとして環境を整えることがあると思います。

私事になりますが、小学校の頃、私はコロコロと将来の夢が変わりました。看護師、花屋、先生、・・・看護師は病気の時、優しくしてもらったから、花屋は彩りがきれいで毎日が明るく過ごせるなあと思ったから、先生は、私もあんな風にみんなの前で上手に音読したいなあと思ったからなど、その場その場の環境で、私の夢は変わりました。もちろんテレビの影響を受けて、アイドルになりたい！と思ったこともあります・・・(*^o^*)。自分の適性を知らず、漠然としていて影響を受けやすい性格だったかもしれません。ただ、環境が私の思いに影響を与えたことは間違いないと思っています。

さて、先日の5月3日「ひとくらしのいちにち(旧糸や通りいらっしやいませ祭り)」に行ってきました。天候にも恵まれ、歌声、和太鼓が響き渡っていました。そんな中で「お仕事体験」をしている子ども達に出会いました。「いらっしやいませ」と声をかける子、ポスターを作って準備した子・・・この子達はそれぞれに学びがあるのだろうなあと感じていました。そして、将来、どんな職業に就きたいか考えるきっかけになったのではないかなあと思います。

